

生徒・保護者の皆様へ キャリア教育通信

1・2年共通

・総合学科発表会 [2月10日 於大田市農村環境改善センター]

島根県総合学科発表会に、1年5組の小澤星斗さんが地域産業研究「雲南市の販売・小売業についてのアイデア」を、2年4組中林風真さんが課題研究『「ナノテクノロジー」は生活により影響を与えるのか』を発表しました。本校の他、松江農林高校・益田翔陽高校・邇摩高校からも2本ずつ発表がありました。各校とも特色のある発表でした。



・「図書館がつなぐ学びの輪」 [2月23日 14:00~17:00 於図書館]

島根県立大学短期大学部総合文化学科の岩田英作教授と本校卒業生2名をお招きして「図書館がつなぐ学びの輪」を開催しました。1・2年生から25名、校外から1名、本校職員が参加しました。

内容は、島根県立大学松江キャンパスの紹介、絵本の読み聞かせ、おはなしレストランの取り組み紹介、卒業生との交流会でした。この企画は3年前から行っていて3回目。今年はキャリア教育の要素を取り入れて、卒業生が高校時代、短大に入ってから就職するまでの話などをする機会を設けました。就職試験の時に、高校3年次に受けた面接指導のノートが役に立ったというエピソードを聞くことができました。



・「うなんん若者会議」 [1月30日、3月6日]

「雲南若者会議」では4月2・3日に行われる雲南市桜まつりの企画を考えています。今回は木次地区の方々に企画を説明する会が木次の「茶のん場あびす」を会場に行われるのを前に、進捗状況の確認と発表資料の準備をしていました。三新塔交流センターでは「場づくり」と「医療」と「食」のチームが（上段）、雲南市役所では「アート」のチームが（下段）活動をしていました。



企画発表会では、雲南市政策企画部部長佐藤満さまと、桜まつり実行委員会会長の塚本祐次さまから各チームの発表の講評と励ましの言葉をいただきました。



❁ 1年

・中曽拓人先生講演会 [1月13日 14:05～15:45 於大講義室]

1月13日午後、1年生を対象に昨年11月に本校に赴任した中曽拓人先生の講演会「課題発見・課題解決～海外青年協力隊の活動から～」を実施しました。中曽先生は大学を卒業後、2年間、海外青年協力隊の一員として、アフリカのルワンダという国で、現地の理科教育の充実のために活動を行い、昨年7月に帰国されました。講演では、その体験や活動の様子などを語っていただきました。理科の実験道具や教材などの設備が整わない中どのような工夫をして授業をされたか、現地の先生に理科教育の重要性を理解してもらうためにどのような奔走をしたか等、「課題発見・課題解決」の演目のもと、興味深い話をたくさん語っていただきました。また、1年生はこの講演に先立ち、10年後の自分の姿を描いてみる、というライフプランの課題に取り組みました。中曽先生は26歳ということで、1年生のまさに10年後の姿にあたります。先生の講演が10年先を描く生徒たちのライフプランの参考にもなったことでしょう。講演後の生徒たちからは「海外での活動に関心を持つことができた」「いろいろな体験をして進路選択をしてみたい」などの感想が多く聞かれました。



・「産業社会と人間」講演会 [2月3日 14:05～15:45 於大講義室]

本校のキャリア教育では、地域とのつながりをより深めていこうとしています。昨年、みとや世代間交流施設「ほほ笑み」運営協議会（三刀屋地区まちづくり協議会、合同会社エコカレッジ、訪問看護ステーションコミケアで組織）から、「ほほ笑み」を高校でも活用して欲しいという相談がありました。そこで、今年度は講演会の開催と、「ほほ笑み」での活動を「産業社会と人間」の時間に行うことにしました。

講演会は2部構成で、1部は合同会社エコカレッジ尾野社長による起業や島根で会社を運営するメリット、地域自主組織と連携して世代間交流施設「ほほ笑み」を作った経緯を講演していただきました。第2部は尾野と三刀屋地区まちづくり協議会から上代会長と倉内さん、訪問看護ステーションコミケアから歌田代表の4名でディスカッション形式で現在に至るまでの経緯や、研究をする意義、意見を他者に伝える方法などについて話していただきました。



・「産業社会と人間」世代間交流施設「ほほ笑み」との連携 [2月10・17・24日 於「ほほ笑み」]

1年次の学校設定科目「産業社会と人間」で世代間交流施設「ほほ笑み」と連携し、課題発見を行っています。

雲南市三刀屋町三刀屋にある世代間交流施設「ほほ笑み」は、本校から歩いて5分のところに位置していて、就労支援事業所「エコカレッジ」と訪問看護ステーション「コミケア」を併設しています。

下の写真は2週目のものです。左から「ほほ笑み」ののぼり旗、「ほほ笑み」でコミケアの方と話し合いをしているところ、エコカレッジの方の就労支援についての話を聞いているところ、三刀屋まちづくり協議会会長上代眞さん、倉内敦子さんから三刀屋地域の課題を聞いているところです。



下の写真は3週目。上段左から、「ほほ笑み」施設長景山真一さんのお話、三刀屋まちづくり協議会会長上代眞さんのお話。コミケア所長の歌田ちひろさん、安達弓恵さんによる体操とインフルエンザについてのお話を聞いているところです。



テーブルごとに地域医療をとりまく課題や職業について話し合っていました。



今年度はこれで終わりですが、次年度以降も地域と連携してキャリア教育を進めていく予定です。

・問題解決型学習成果発表会 [2月10日 於くにびきメッセ]

「高等学校問題解決型学習成果発表会に、2年1組の小池ななみさんが参加し、課題研究「和服を日本に残していくために」を発表しました。発表会では他に県内の農業・工業・商業・水産・理数科の10校からの発表がありました。

・課題研究ポスターセッション [3月15日 於体育館]

2年生は1学期より課題研究を行ってきました。キーワード調べから研究主題を見つけ、研修旅行では課題解決に向けて東京の学術機関や事業所を訪問しました。それらの研究をまとめて、11月には課題研究の口頭発表を行いました。今回はポスターにまとめて発表を行いました。141本の研究の中から各クラスから推薦された35本を3グループに分けて、グループごとに3回ずつ発表しました。発表後に、NPO法人「カタリバ」から生田さま、同じくNPO法人「おっちラボ」から糸原さま、朝日新聞社から富岡さまより講評をいただきました。



先日ある先生の車に乗ったときに、カーナビにいろいろな機能がついていて驚きました。渋滞や事故の場所の通知、メールの送受信や電話機能まで。地図情報もダウンロードできるとか。確かに2007年7月に地デジに完全移行する理由の一つに高度道路交通システムがあったことを思い出します。地デジ化で余った電波を交通システムに利用するというもの。約10年たってその便利さを知ることができました。地デジとカーナビを電波という視点で見る人がいたのですね。社会をよくしたいと思う人たちの発想と努力によって快適な生活がおくれるのです。そんな人材を輩出すべく三刀屋高校のキャリア教育を進めてきた1年でした。